

「環境報告書2011」の発行にあたって



宮崎精鋼株式会社は、モノ造りを通じて
社会の発展に貢献していきます。
地球温暖化、省エネルギー問題についても
積極的に取り組んでいきます。

2011年8月

宮崎精鋼株式会社
代表取締役社長

宮崎 薫

2011年3月11日に発生した東日本大震災により被災されました皆様に、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い被災地の復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

今回の大震災は、東北地方に集積する部品メーカーや素材メーカーに甚大な被害をもたらしました。そして、自動車・電機産業を支えてきたそれらの企業が操業停止を余儀なくされ、サプライチェーンの寸断は日本国内だけではなく、全世界にまで波及し、その影響は、広範囲かつ長期的なものとなりました。その結果もたらされた生産調整や計画停電を背景に、私たちは改めて資源の大切さやエネルギーの恩恵について痛感させられたと同時に、リスクに備えることの必要性を痛感した次第です。

当社では、今回の震災を機に大規模災害時の防災マニュアルの見直しを開始し、近い将来発生するであろう東海、東南海地震に備え、最悪の事態を想定した危機管理体制の整備に着手しました。

これは今後作成する事業継続計画（BCP）への第1ステップとなるものです。

また、震災直後から何か被災者の皆様に少しでもお役に立てることはないだろうかとの強い思いから、社員 および、関連会社の社員から義援金を募り、日本赤十字社 他に寄付させて頂きました。

政府の発表した東京電力と東北電力管内の大口需要家に対する電力需給対策の要請では、夏のピーク時の電力使用量の抑制目標15%に対して、当社のお客様である日本自動車工業会、日本自動車部品工業会は、全国的に7月から9月の間、土、日曜日に工場を操業し、代わりに木、金曜日を休日とするシフト変更を実施して節電要請に応じております。また、当地区では中部電力 浜岡原子力発電所の運転停止に伴う節電要請を受けています。当社では震災発生以前から省エネルギーと省資源に心掛けて参りましたが、それらの状況を勘案して今年度は、下記のように一層の節電対策を実施しています。

- 年間を通じて瞬間最大電力使用量を2010年度対比10%削減しながら、フル生産する体制の確立
- 7月から9月の間の休日変更（土、日曜日 → 木、金曜日）
- 設備改善と操業方法の改善によるデマンド契約の10%削減
- スーパークールビズ（事務所内軽装励行、空調設定の見直し、照明の間引き 等）の実施
- 工場昼休み時間の1時間繰下げ（本社工場のみ、13時～14時）

現在、地球温暖化防止や生物多様性保全など環境保全への社会の関心が高まっていますが、今回の震災 および、原子力発電所の事故により、日本全体のエネルギー政策が見直しを迫られています。当社では昨年スタートした中期経営計画「L A 5」（LOOK AHEAD 5YEARS）を確実に実行することによって、環境理念にもありますように社会と共生する「良き企業市民」であり続けることを目指し、長期的視野に立って社会貢献出来るよう取り組んで参ります。

最後になりましたが、環境報告書は今年で第4版となります。当社の環境貢献とそれを実現する環境経営の姿をご理解いただくために、わかりやすく『環境報告書2011』としてとりまとめました。何卒このレポートを最後までご一読の上、当社の取組みについてご理解いただき、あわせて広く皆様からの忌憚のないご意見、ご助言を賜れば幸いに存じます。